

The WWII 英米語学科学術講演会

Japanese American Experience: A Kibei Story



日系アメリカ人の第二次世界大戦の経験： 帰米の物語

入場無料
申し込み不要

使用言語
英語
通訳無し

サツキ・イナ氏は第2次世界大戦中にチューリ・レーク強制収容所の中で生まれた。彼女の両親は帰米2世と呼ばれる日系アメリカ人で、アメリカ合衆国で生まれたため米市民権は有するが、家庭の事情等で、日本で教育を受けた後にアメリカに帰った経験を持つ。1941年12月7日の日本による真珠湾攻撃の後、イナ氏の両親は約12万人の日系アメリカ人とともに、自宅から強制退去を命じられ、手に持つことのできる荷物だけを携えて、その後の4年間にわたり「囚人」として収容された。本講演では、両親の残した写真、手紙や日記などの貴重な一次資料を紹介しながら、約50年後の1988年に合衆国政府が公式な謝罪を表明した、この悲劇的な不公正の体験談を紹介する予定である。

2017 **6/27** 火 13:20 ~ 14:50

会場 名古屋外国語大学 701 教室
(7号館地下1階大講義室)

主催 名古屋外国語大学英米語学科

共催 ワールドリベラルアーツセンター

対象 名古屋外国語大学生及び教職員
中学校・高等学校の教員
関心のある一般市民

Profile サツキ・イナ氏

カリフォルニア州立大学サクラメント校名誉教授。トラウマ治療を専門とする心理療法士。日系アメリカ人3世として、第2次世界大戦中に日系アメリカ人を収容した強制収容所の1つ、チューリ・レーク隔離収容所内で生まれる。カリフォルニア大学バークレー校卒業後、オレゴン州立大学コーバリス校で博士課程修了(心理学)。ドキュメンタリー映画監督として Children of the Camps (収容所の子どもたち) (2000年) と From a Silk Cocoon (絹の繭から) (2005年) を製作。From a Silk Cocoon は、アメリカ生まれ、日本育ちの帰米2世であるイナ氏の両親の強制収容体験を映画化したもので、「文化・歴史番組制作」の部門でエミー賞(北カリフォルニア地区)を受賞した。現在カリフォルニア州オークランド在住。



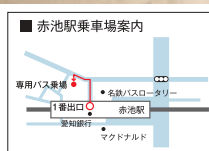
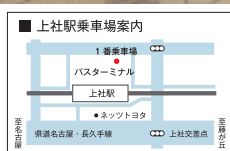
ArtesMUNDI Vol.2 発行のお知らせ

ワールドリベラルアーツセンター (WLAC) ではこの度、雑誌 ArtesMUNDI 第2号を発行いたしました。本イベント会場にてご希望の方に贈呈いたします。※数量には限りがあります。

■本校へのアクセスについて

当日、駐車場はございませんので、公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。
専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。

<http://www.nufs.ac.jp/>



■お問合せ

名古屋外国語大学英米語学科
470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57

☎ 0561-75-2609 (直通) ✉ e-mail: chiemy@nufs.ac.jp